

IKIFURE NEWS

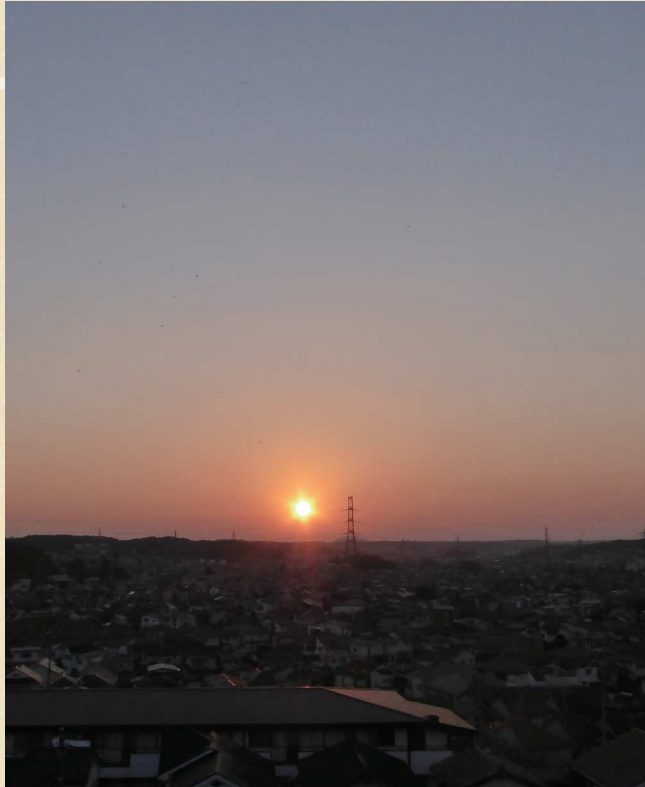
Vol.48 2019年秋号

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
〒359-1133 所沢市荒幡 782 04-2939-9412 <http://www.ikifure.info>



秋は夕暮れ

（冬への備え、春への準備）



右 / センター近くからの夕日 左上 / イイギリ 中央 / ヒメアカカテハ 左下 / エナガ 右下 / アオツツラフジの実

さびしきは その色と
しも なかりけり
真木三つ山の 秋の夕暮

これは新古今集に収められた『秋の夕暮』で終わる有名な3首、三夕（さんせき）の歌と言われるうちの一つ、寂蓮法師の歌です。秋の夕暮れには美しさと哀愁が感じられ枕草子にも秋は夕暮れと書かれています。これは中世以降、仏教の浄土思想が広く一般の人たちに浸透していったことと深い関係があるようです。落葉樹は葉を落とし、草本も多くが地上から姿を消します。昆虫たちの姿も次第に見かけないようになり、まさに森は『寂しく』なつていきます。

暦の上では冬ですが、狭山丘陵のあたりでは12月上旬ころまで黄葉が楽しめます。パステルのグラデーションで彩られた春とは違い鮮やかなグラデーションを見せてくれる木々。華やかさとともに感じるのは寂しさ。有終の美を楽しんだ後は、冬越しのために集まってきている野鳥たちの姿が見つけやすくなります。晩秋から初冬は野鳥たちがまだ移動をしています。ざわつく森は寂しさと隣り合わせです。



ニシキギの紅葉
画 堅香子の会

陰陽五行説では白秋から玄冬へ、本来は無色透明の心象と言われるこの『白』は澄んだ秋の空気を表すのにぴったりの色です。玄は黒で夜の闇の色を表すとも。再生を繰り返す森は新たな命を静かに育みながら夜の闇に溶けるように息づいています。

おすすめの
取組み

いきものふれいの里植物画
新作原画展を
開催します。



9月末～11月末まで約30点の植物画展。
本邦初公開、是非いらして下さい。

狭山丘陵のいきもの写真を
募集しています。応募〆切 11/15
狭山丘陵周辺で撮影した『いきもの』の
写真を募集しています。ご応募頂いた
作品は、館内で掲示予定です。
詳しくは、窓口またはHPで



狭山丘陵
出前講座を
ご利用下さい。



狭山丘陵の動物や植物のことを多くの方に
知って頂きたいと思い企画しております。